

平成23年度
実施事業

事務事業名 小学校屋根・外壁改修事業

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり
小分類	3	教育環境の充実
主要な施策	1	児童生徒の安全確保
事務事業番号	032	事業開始年度 平成 12 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育	グループ名	総務グループ
-----	----	-------	--------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	児童等が安心して学校生活を送ることが出来るよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	老朽化した校舎、屋体の屋根・外壁の塗装や外壁工事を行う。 【事業実績】 ・幌別東小学校屋根葺替工事
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	教育環境の改善を図り、児童等が安全で安心な学校生活の環境整備を実施する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	学校教育法

事業費（財源内訳）の推移

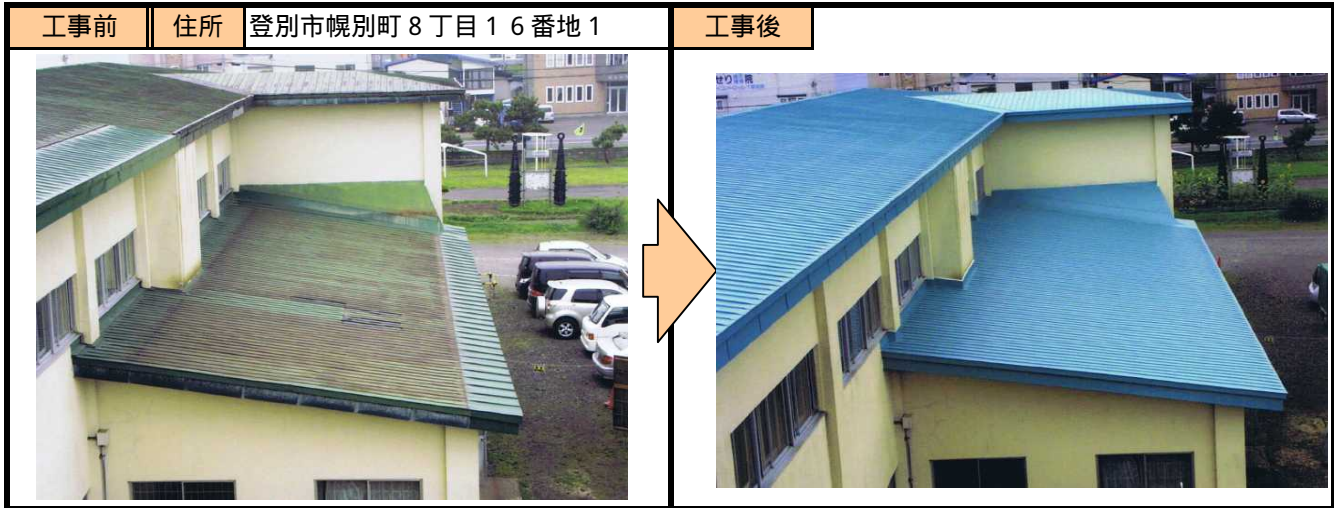
《Plan・Do》

区 分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円	4,000				
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円	35,800		9,700	8,100	17,000
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	142	13,283	3,300	2,800	5,743
事業費 合計			39,942	13,283	13,000	10,900	22,743

指標の推移

《Check》

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	改修した小学校	校	目標値	2	1	2	1	1
			実績値	2	1			
			目標値					
			実績値					



担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	→	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 市内小学校施設の老朽化により、修理が困難で支障をきたしている箇所を年次的に改修を行うものであり、児童・生徒等が快適な環境の中で学習することができるように行政が整備することが妥当と考える。
		民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
		国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
		国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	→	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 学校施設の屋根・外壁の改修を行うことにより、児童等へ安全な教育環境の改善を図れる。
		市民アンケートの結果から必要性が高い	
		社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
		市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	→	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 学校施設の老朽化による支障を来している施設から計画的に改修を行う。使用する材料等は汎用品を採用することでコスト縮減を図っている。
		市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
		多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
		将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	→	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 事業の継続により教育環境の改善を図ることが出来る。
		市民、団体等の声から成果を感じられる	
		目に見える形で成果があがっている	
		成果の把握は困難である	

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	施設の老朽化により、修理が困難で支障をきたしている施設を年次的に改修し、環境改善を図る。
-----------	----------------------	--

行政評価会議による評価

維持	備考	
-----------	----	--